第 2019-36 号

恵みと真理のニュース

2019 年 09 月の二次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］

神 神様は信仰の家庭を作るようにしてくださり、尊い子供を通して命の大事さを知るようにしてくださいました。

神様を信じる青年は誰でも真実な信仰に出会い主がご覧になって美しい家庭を作るのが一番の希望であり祈り課題でしょう。私も早く教会で良い人に出会いたかったです。しかし、思うことと違って難しかったです。教会の外でも会った人々は性品がよく見えたので会ってみたら結局、信仰的な深い対話が出来ませんでした。何よりも伝道が難しかったです。そして教会に会った兄弟と姉妹が交際して結婚し幸せな家庭を作るのがとてもうらやましかったです。
修練会で結婚の主題で特別講義聴いて兄弟と姉妹達が話を分かち合って具体的な祈りの題目を出して幸せな家庭を夢見ながら神様に祈りました。“神様、真実でユーモアがある人に出会って主と教会を仕える家庭を作り幸せに生きるようにしてください。”そうする中で２０代半ばに入った時、大学の先輩と遊びに行く友達と共に行こうと誘われて、ついていた場所で旦那に出会いました。
私を好きにして愛する姿が気に入れて付き合いました。神様が勇気を与えたから付き合って数日も経たないうちに彼を教会につれて行きました。まったく信仰がない人が気軽くついて教会に来ることも大きい勇気が必要だと思いますが、彼は新信者の教育も修了して主日ことに私が奉仕する教会学校の部署で補助教師として習い奉仕しながら真面目に礼拝を捧げました。他の青年達とよく交わりながら教会生活によく適応しました。しかし、私は彼を結婚の相手に思わなかったです。私が勧めるから教会に来ることで神様に向う信仰と愛で熱心に教会生活をするようではないと思ったからです。私は愚かに彼氏の信仰と信仰生活の発展のため心を尽くして祈らなかったです。たまにはもっと信仰が良くて能力がある人と比較しました。
付き合ってから２年に経って彼が通っていた職場をやめて新しい職場を探すため私に祈りを頼みました。私が思うには入社がするのが難しい会社でしたが、あまり祈りを頼まなかった彼だったので“切実な願いだろう。”と思って心を尽くして神様に祈りました。“かみさま、彼氏の願いを聞いてくださって神様に栄光を捧げるようにしてください。”どころが本当に１次２次試験の面接を通過して入社しにくい会社に最終合格しました。
合格した後、彼が話して“切ない心で神様に祈った結果だと、神様が助けてくださって合格が出来たとしました。そして最終面接のときに“生きながら今までしたことの中で一番よく行動したことがあるなら何ですか。話してください。”という質問に“今の彼女に出会って教会に通いながら信仰生活をするようになったのだと答えて付け加えて教会に通って良い人々に出会い人生にあって必ず必要なことをたくさん習うことが出来ました。と答えたそうです。私は今まで彼の信仰を弱く思っていたことを神様の前に出て悔い改めました。
数年間、付き合って牧師の司婚者で結婚礼拝を捧げました。１年後に子供達に対する計画をたてて祈りました。喜ぶことはすぐ妊娠して神様に感謝を捧げました。私が願っていた幸せな家庭を作るだろう。“これからの生活がもっと期待しました。しかし、喜びは短く、異常があって病院に行ったら子供の心臓が動いてなかったです。家族と医師に泣くのを隠そうとしたかったが、手術を待つ間、どのぐらい泣いたか分かりません。涙を全部流した後、神様にこのように祈りました。“神様に感謝します。私に一つの命を得ることがけして優しくないことを悟らせてくださって感謝します。私に一つの命を得ることはけして優しいことではないことを悟らせてくださって感謝します。もっと健康な子供を生むように、今はあの悩みを苦難を下って　感謝します。
神様の恵みで数ヶ月後、再び妊娠をして健康な息子を産みました。息子が健康で明るく育つのを見たら二番目の子がほしくて計画し祈りました。どころが、願っていた通り二番目の子を妊娠して４ヶ月になった時、医師から子に様々な異常が出来て生きるのが難しいと晴天の霹靂のような話を聞きました。
初めて流産した時には妊娠初期だったのですぐ体と心が回復されましが、今は４ヶ月以上おなかに抱いていた子供がまた問題があると言われて、空が崩れるようでした。しかし、気を取り直して神様に祈りました。“神様、私に一人の命、魂が天下より大事で尊いのを悟らせてくださって感謝します。健康な二番目の子を生んで育てるように助けてください。
二番目の流産で心と体は痛かったですが、今回も信仰で神様を仰ぎ切ない心で祈りました。苦しんでいる私を見ながら旦那は子供が一人だでも十分だとしましたが、私は二番目の子を生みたかったです。考えたより準備期間が長くなり心が不安になりました。共に奉仕する先生と区域の聖徒達がわたしの願いが成し遂げられるように祈ってくださいました。幸いなことはまた妊娠が出来て嬉しい心で二番目の子の出産を待ちました。
どころが、妊娠２９週の時、急におなかが痛くなって応急室を探しました。弱り目に祟り目で膵臓炎に加え子宮頸部の長さが短すぎて早産の危険があるとしました。この命のため私が出来ることは何もないのだ。私は無力感を切実に感じ神様が今まで私に悟らせてくださった御言葉を黙想しました。すると御言葉の恵が望まれ今回は神様が私と子供達を守ってくださると強い信仰が出来ました。不安だった心に主の平安が望まれました。神様が共におられ助けてくださるのを信じて神様をあおぎました。わたしの信仰の祈りを神様が答えてくださいました。高危険群産婦室に一ヶ月以上に入院していたけど周りの恐れと違って健康な二番目の子を出産しました。今、わたしのそばで明るく笑ってくれる５歳の息子と寝ている二歳の娘を見ていると言葉で表現できないくらい幸せになります。神様に感謝の賛美を捧げます。幼い子供達二人を養育するのが大変ですが、神様から受けた恵みに感謝する心で教会学校で教師として心を尽くして奉仕しています。神様が預けてくださった神様の子羊を御言葉と祈りで養育するため、祈って尊い職分を担えます。神様がプレゼントで下さって、また任されたこの全ての子供達が神様に尊く用いられるのを希望して主の御言葉と愛でよく育てる知恵と能力を下さるのを神様に祈ります。神様に全ての栄光を捧げます。ハレルヤ！

［信仰コラム］

予測と予言

”...この預言の言葉を朗読する者と，これを聞いて，その中に書かれていることを守る者たちとは，さいわいである。時が近づいているからである。”

人は誰でも未来のことを今知りたがります。興味だけではありません。今後起きることを先に知ると適切に備えることができるので役立つからです。今後のことを前にくみ取ること、そのことが発生する可能性を見積もってくみ取るのが予測です。従って、予測する言葉には必ずそのようになると断言する表現を使いません。大体に経験や統計資料を斟酌して予測するが、予感で予測することもあります。
人は精巧な器具、奇術、参考資料と経験があってもある私物がどのようになるかについては予測性の予告と判断をするしかありません。予期せざる変動がある可能性のためです。しかし 100%確実な予告と判断ができることがあります。聖書に記録された約束と予言です。
聖書の約束と予言はある事が発生する可能性を見積もってくみ取り予測して予告するのではありません。神様の御言葉は永遠、不変です。イエスキリストによる救いが聖書の核心メッセージです。聖書にはイエスキリストの誕生と活動と贖いの死と復活そして再臨に対する予言が多くあります。このような予言は正確に全て叶えられてまた叶えられます。
第一、イエス様の誕生が普通の人々の出生と異なる点の中で一つは予言者を通じて昔から予言されたという事実です。新約聖書のマタイによる福音書には”主が預言者によって言われたことの 成就するためである”という表現を 13 回使用しました。そして旧約聖書に予言された御言葉を引いたことが 129 回に達しています。イエス様の誕生は予言された御言葉通りになりました。
第二、イエス様の全ての活動は聖書に予言された通りでした。マタイによる福音書 8 章を見るとイエス様が病んだ者を癒される連続された治癒の奇跡の後には”これは，預言者イザヤによって「彼は，わたしたちのわずらいを身に受け，わたしたちの病を負うた」と言われた言葉が成就するためである”と記録されています。
第三、イエス様は聖書に予言された通りに苦難を受けられて死なれました。イエス様はローマ兵士に捕まえられた後にペテロに”それとも，わたしが父に願って，天の使たちを十二軍団以上も，今つかわしていただくことができないと，あなたは思うのか。しかし，それでは，こうならねばならないと書いてある聖書の言葉は，どうして成就されようか」”と言われました。イエス様は御自分に対して予言された御言葉を少しも外れなしに全て叶えられました。
第四、イエス様は聖書に予言された通りに復活なさいました。使徒パウロはフェスト総督とアグリッパ王が陪席して裁判を受ける場に立った時にイエス様の死と復活は”預言者たちやモ―セ が，今後起るべきだと語ったことを，そのまま述べてきました”と言いました。
イエス様の誕生から復活までの全てのことは神様の約束と予言者を通じて予言されたその通りになりました。このような事実は聖書に啓示された予言と約束は必ず成就されるという信仰を私達が持つようにしてくれます。そして将来叶えられることに対して確実な望みを持たせます。イエス様の再臨に対する約束と予言も聖書に記録された通りに必ず叶えられます。新な天と新な地が到来して聖徒達が新なエルサレムに入って主と共に永遠に福楽を享受する約束と予言も聖書に記録された通りに必ず全てが叶えられます。
100%確実な予告は聖書に記録された約束と予言だけです。神様の約束とその予言はいかなる場合にもその通に必ず叶えられます。”...わたしの生きているかぎりは必ず恵みといつくしみとが 従うでしょう。わたしはとこしえに主の宮に住むでしょう。”、”神は，神を愛する者たち，すなわち，ご計画に従って召された者たちと共に働いて，万事を益となるようにして下さることを，わたしたちは知っている”、”キリストにあって死んだ人々が，まず最初によみがえり，それから生き残っているわたしたちが，彼らと共に雲に包まれて引き上げられ，空中で主に会い，　こうして，いつも主と共にいるであろう”このような御言葉は聖徒達のために与えてくださった約束で予言です。必ずそのようになる予言です。
皆さんは聖書に記録された必ず叶えられる予言によって常に強く大胆で希望が満ちている生活をしてください。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

戒めなければならない責任

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

人は一生の間に情報を他の人にくれたり得ることもしながら生きていきます。取り交わす情報の量と質は様々です。その情報の中には宝のようなものがあればゴミのようなものもあります。有益なことがあれば無用もあります。本当のことがあれば偽りもあります。
今日は情報の取得と分別と伝達について説明します。

第一に、私たちは真実で有益な情報を取得するために、常に努力しなければなりません。

今日には、科学技術の発達で書籍、新聞、雑誌、ラジオ、テレビ、インターネットなどのマスメディア、つまりメディアを介して多方面の情報を迅速かつ容易に大量に取得することができます。携帯電話により、老若男女を問わず、情報の洪水に溺れ住んでいます。良質の情報は、生活の質を向上させる資産です。**「わたしの 民は 知識がないために 滅ぼされる. あなたは知識を 捨てたゆえに, わたしもあなたを 捨てて, わたしの 祭司としない. あなたはあなたの 神の 律法を 忘れたゆえに, わたしもまたあなたの 子らを 忘れる」 ホセア書 4 章 6 節です。**
何にも匹敵することができない最もよい最高情報は、聖書にあります。人々から出てきたすべての情報をすべて持っても、聖書に記録された救いの情報を知らなければ滅びされます。聖書には、罪の赦しと永遠の命と救いを得る道についての情報が記録されています。聖書は、人の人生を真の意味を生産し、生きる情報とすべての問題を対処する知恵の情報の宝庫です。私たちは、良質の情報を取得することに努めるだけでなく、神の預言者たちと使徒たちを通して与えられた霊的な情報を得るために積極的に努力しなければなりません。

第二に、私たちに情報を正しく判断する分別力がなければなりません。

偽りで、悪い情報によって人が神に逆らった事件が聖書の創世記 3 章に記録されています。その邪悪なことを行なった存在がサタンだったのが明らかに表れています。
サタンが蛇を通してエバに接近して言ったのは、**「園にあるどの 木からも 取って 食べるなと, ほんとうに 神が 言われたのですか 」**としました。エバは蛇に答えたのを**「ただ 園の 中央にある 木の 実については, これを 取って 食べるな, これに 触れるな, 死んではいけないからと, 神は 言われました 」としました。**
すると蛇は女に断定的に言う、**「それを 食べると, あなたがたの 目が 開け, 神のように 善悪を 知る 者となることを, 神は 知っておられるのです」 女がその 木を 見ると, それは 食べるに 良く, 目には 美しく, 賢くなるには 好ましいと 思われたから, その実を 取って 食べ, また 共にいた 夫にも 与ええたので, 彼も 食べた」と**しました。
サタンが与える偽りの情報を介してエバが アダムとサタンの偽りの情報にだまされた原因は、神様が与えられた情報、すなわち、神の言葉を度外視したからです。
神が彼らに与えられた言葉が創世記 2 章に記録されています。**「主なる 神は 人を 連れて 行って エデン の 園に 置き, これを 耕させ, これを 守らせられた. 主なる 神はその 人に 命じて 言われた, 「あなたは 園のどの 木からでも 心のままに 取って 食べてよろしい. しかし 善悪を 知る 木からは 取って 食べてはならない. それを 取って 食べると, きっと 死ぬであろう」（創世記 2：15～ 17）** アダムとエバが神様がくださった情報として、サタンの情報を分別したら本当にサタンの情報を排撃したものです。そうしなかった理由は、サタンの情報に接することになると貪欲が発動したからです。人が不幸を招くことは真実に有益な情報を持たのができなかったためだけではなく、私利私欲によって真の情報を度外視したためでもあります。
ノアの時に人々の罪が多く、その心の考えている計画が常に邪悪だけでしたのを神がご覧になって悲しみになっていました。そして、神が世を洪水で滅ぼすのを思われました。神は、神と同行する正しいノアに箱舟を予備するように指示されました。そして箱舟の作るの詳細な設計を言われました。ノアは箱舟を作る一方、人々に行って洪水の審判に関する情報を熱心に伝えました。人々は彼らの経験と常識の通り判断し、ノアを嘲笑しました。しかし、ノアは過去の気候と現在の気象状態がどうかという情報を判断基準に視ていないで神様がくださった情報である啓示の言葉で判断しました。
人々の引き止めと嘲笑と妨害にもかかわらず、熱心に箱舟を建造しました。ついに箱舟が完成しました。神が言われました **「あなたと 家族とはみな 箱舟にはいりなさい. あなたがこの 時代の 人々の 中で, わたしの 前に正しい 人であるとわたしは 認めたからである」（創世記 7：1）としま**した。神が見たノアの義とすべての情報を、神様がくださった情報として分別して判断して行ったものです。
「あなたはすべての 清い の 中から 雄と 雌とを 七つずつ 取り, 清くないの 中から 雄と 雌とを 二つずつ 取り, また 空の 鳥の中から 雄と 雌とを 七つずつ 取って, その種類が 全地のおもてに 生き 残るようにしなさい. 七日の 後, わたしは 四十日 四十夜, 地に 雨を 降らせて, わたしの 造ったすべての 生き 物を, 地のおもてからぬぐい 去ります 」ノア はすべて 主が 命じられたようにした **」（創世記 7：2~5）**
ノアはただ神から与えられた情報により、すべての状況を判断して行動しました。これらの行動が正しかったことを、神が確証されました。
「地のおもてにいたすべての 生き 物は, 人も 家畜も, 這うものも, 空の 鳥もみな 地からぬぐい 去られて, ただ ノア と, 彼と共に 箱舟にいたものだけが 残った」（創世記 7:23）最終的に滅びる人と救われる人の違いは、彼が持った情報の違いにあります。滅亡する人は、神が与えられた霊の情報を軽蔑します。救いを得る人は、神が与えられた霊の情報を貴重に思っています。神様がくださった情報として、世界のすべての情報を分別して判断します。今日の聖徒たちは、神が完成された啓示である聖書を持ちました。人生の幸福と不幸、成功と失敗の決定的な情報を提供することで、聖書に匹敵するものはありません。ですから、皆さんは世の中のあらゆる情報を、聖書に啓示された情報として分別して取捨選択してをください。

第三に、私たちは聖書どおりの情報を他の人に伝えることです。

殺人者のゴジェボンは 1963 年 10 月 19 日に江原道 麟蹄郡でイドゥクジュ中佐の家族六人を斧で全滅させた者です。彼にある方が伝道を始めました。ゴジェボンのかたくななは比べるものがなかったしつこく伝導した結果、最終的に、彼は福音を受け入れました。そしてまともな信者になりました。ある日ゴジェボンが閉じ込められている獄で泣き叫ぶ声がしました。「子供のころの町内にも教会があったがその教会が私にイエスを教えてくれるなかったので、私は人を殺す者になったではないか！教会が、教会が... 」 としました。
ゴジェボンはこの地獄の幻を見て泣き叫んたものです。彼は死刑の執行日に「愛する救い主よ、私の言葉を聞き罪人よ来なさいの際に 私を呼び一主よ、主よ、私の言葉を聞き罪人 来なさいの際に 私を呼び一」と賛美を歌いながら、この世から天国に移しました。彼はイエスを信じた日から死刑が執行された日まで 伝導した人の数はなんと 1800 人を超えました。
多くの聖徒が聖職者が W.C.C.と宗教多元主義を教えてくれなくて歪曲された信仰のルートを従うのです。そんな教役者は、これらの恨む言葉を聞く日が来るでしょう。教役者が聖徒たちに共産主義の実体と主体思想派の実像について教えてくれなくて警戒心を持たない聖徒があります。だから国と教会を危険に堕ちる人々がいます。そんな教役者は、これらの恨む言葉を聞く日が来るでしょう。教役者が聖徒たちに差別禁止法と同性愛の実像についての情報を教えてくれなくて、その法により、教会が困って伝道することが違法処理になれば、その教役者は、彼らの 恨むを聞く日があるでしょう。

「人の 子よ, わたしはあなたを イスラエルの 家のために 見守る 者とした. あなたはわたしの 口から 言葉を 聞くたびに, わたしに 代って 彼らを 戒めなさい」（エゼキエル書 3:17）。すべてのクリスチャンは見張りの使命があります。皆さんは未信者に福音を伝える使命を実行するだけでなく、歪曲された聖書観、歪曲された救い観、歪曲された教会観、歪曲された歴史観、歪曲された国家観を持つように人々に聖書のどおり正しい情報を伝える**戒める**責任があります。 伝えても聞かないと責任を負うことないが、 伝えくれなくて聞かず、気付かなくなると伝えなかった責任を免れることができません。 「子供のころの町内にも教会があった教会が 私にイエスを教えてくれるなかったので、私は人を殺す者になったではないか！ 教会が、教会が... 」と泣き叫ぶ死刑囚の声を覚えなければなりません。